

教科名	保健体育	科目名	体育	履修単位数	3単位	履修学年	1学年次男子
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『現代高等保健体育』（大修館書店）						
副教材等	なし						
授業担当者	菊池 琢磨、原田 光						

1 学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 指導のねらい

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動させ、生徒によっては、これまでの経験からくる運動嫌いや苦手意識に固執することなく新たな気持ちで授業に臨ませる。
- ・自分と仲間の持つ課題を見つけようとする意欲を持たせる。また、自分自身のことにとどまらず仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つけさせる。
- ・基礎的な知識・技能をもとに意欲を持ってスポーツを実践させる。

3 指導計画〈105時間〉

▼前期〔60時間〕	
・オリエンテーション、体づくり運動	(10時間)
・体育理論	(4時間)
・陸上競技（短距離、長距離）	(12時間)
・陸上競技（障害、跳躍）	(12時間)
・球技（ソフトボール、バドミントン）	(22時間)
▼後期〔45時間〕	
・球技（サッカー、バレーボール）	(22時間)
・体育理論	(2時間)
・器械運動（マット運動）、球技（バスケットボール、卓球）選択	(21時間)

教科名	保健体育	科目名	体育	授業担当者名	菊池、原田
-----	------	-----	----	--------	-------

4 課題・提出物等

グループノートの提出など

5 主な評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」及び「知識・理解」の4つの観点を踏まえ、授業への参加の観察、授業中の行動、記録・ゲーム・試合の結果分析、グループノートなどを総合的に評価する。

6 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・方法・理解	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

教科名	保健体育	科目名	体育	履修単位数	3単位	履修学年	1学年次女子
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『現代高等保健体育』（大修館書店）						
副教材等	なし						
授業担当者	菊池 琢磨、原田 力						

1 学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 指導のねらい

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動させ、生徒によっては、これまでの経験からくる運動嫌いや苦手意識に固執することなく新たな気持ちで授業に臨ませる。
- ・自分と仲間の持つ課題を見つけようとする意欲を持たせる。また、自分自身のことにとどまらず仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つけさせる。
- ・基礎的な知識・技能をもとに意欲を持ってスポーツを実践させる。

3 指導計画〈105時間〉

▼前期〔60時間〕	
・オリエンテーション、体づくり運動	(10時間)
・体育理論	(4時間)
・陸上競技（短距離、長距離）	(12時間)
・陸上競技（障害、跳躍）	(12時間)
・球技（ソフトボール、バドミントン）	(22時間)
▼後期〔45時間〕	
・球技（サッカー、バレーボール）	(22時間)
・体育理論	(2時間)
・器械運動（マット運動）、球技（バスケットボール、卓球）選択	(21時間)

教科名	保健体育	科目名	体育	授業担当者名	菊池、原田
-----	------	-----	----	--------	-------

4 課題・提出物等

グループノートの提出など

5 主な評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」及び「知識・理解」の4つの観点を踏まえ、授業への参加の観察、授業中の行動、記録・ゲーム・試合の結果分析、グループノートなどを総合的に評価する。

6 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・方法・理解	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

教科名	保健体育	科目名	体育	履修単位数	3単位	履修学年	2学年次男子
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『現代高等保健体育』（大修館書店）						
副教材等	なし						
授業担当者	菊池 琢磨、原田 力						

1 学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 指導のねらい

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動させ、生徒によっては、これまでの経験からくる運動嫌いや苦手意識に固執することなく新たな気持ちで授業に臨ませる。
- ・自分と仲間の持つ課題を見つけようとする意欲を持たせる。また、自分自身のことにとどまらず仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つけさせる。
- ・基礎的な知識・技能をもとに意欲を持ってスポーツを実践させる。

3 指導計画〈105時間〉

▼前期〔60時間〕	
・オリエンテーション、体づくり運動	(10時間)
・体育理論	(4時間)
・陸上競技（短距離、長距離）	(12時間)
・陸上競技（障害、跳躍）	(12時間)
・球技（ソフトボール、バドミントン）	(22時間)
▼後期〔45時間〕	
・球技（バスケットボール、バレーボール）	(22時間)
・体育理論	(2時間)
・器械運動（マット運動）、球技（サッカー、卓球）選択	(21時間)

教科名	保健体育	科目名	体育	授業担当者名	菊池、原田
-----	------	-----	----	--------	-------

4 課題・提出物等

グループノートの提出など

5 主な評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」及び「知識・理解」の4つの観点を踏まえ、授業への参加の観察、授業中の行動、記録・ゲーム・試合の結果分析、グループノートなどを総合的に評価する。

6 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・方法・理解	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

教科名	保健体育	科目名	体育	履修単位数	3単位	履修学年	2学年次女子
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『現代高等保健体育』（大修館書店）						
副教材等	なし						
授業担当者	菊池 琢磨、原田 力						

1 学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 指導のねらい

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動させ、生徒によっては、これまでの経験からくる運動嫌いや苦手意識に固執することなく新たな気持ちで授業に臨ませる。
- ・自分と仲間の持つ課題を見つけようとする意欲を持たせる。また、自分自身のことにとどまらず仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つけさせる。
- ・基礎的な知識・技能をもとに意欲を持ってスポーツを実践させる。

3 指導計画〈105時間〉

▼前期〔60時間〕	
・オリエンテーション、体づくり運動	(10時間)
・体育理論	(4時間)
・陸上競技(短距離、長距離)	(12時間)
・陸上競技(障害、跳躍)、器械運動(マット運動)	(12時間)
・球技(ソフトボール、バドミントン)	(22時間)
▼後期〔45時間〕	
・球技(バスケットボール、バレーボール)	(22時間)
・体育理論	(2時間)
・器械運動(マット運動) 球技(バスケットボール、卓球)選択	(21時間)

教科名	保健体育	科目名	体育	授業担当者名	菊池、原田
-----	------	-----	----	--------	-------

4 課題・提出物等

グループノートの提出など

5 主な評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」及び「知識・理解」の4つの観点を踏まえ、授業への参加の観察、授業中の行動、記録・ゲーム・試合の結果分析、グループノートなどを総合的に評価する。

6 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・方法・理解	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

令和3年度シラバス（保健体育） 学番78 新潟県立佐渡高等学校相川分校

教科名	保健体育	科目名	保健	履修単位数	1単位	履修学年	1学年次
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『現代高等保健体育』（大修館書店）						
副教材等	なし						
授業担当者	菊池 琢磨						

1 学習目標

- （1）個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。
- （2）健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- （3）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 指導計画〈35時間〉

▼前期〔20時間〕

オリエンテーション

1 現代社会と健康

(1) 健康について

ア わが国における健康水準の向上

イ 健康のとらえ方

ウ 健康と意思決定・行動選択

エ 健康に関する環境づくり

(2) 生活習慣、疾病と健康

ア 生活習慣病とその予防

イ 食事、運動、休養・睡眠、喫煙、飲酒と健康

ウ 薬物乱用と健康

エ 感染症とその予防

▼後期〔15時間〕

健康の保持増進と健康

(3) 精神の健康

ア 欲求と適応規制

イ 心身の相関とストレス

ウ ストレスへの対処

エ 心の健康と自己実現

(4) 交通安全

ア 交通事故の現状と要因

イ 交通社会における運転者の資質と責任

ウ 安全な交通社会づくり

(5) 応急手当

ア 応急手当の意義とその基本

イ 心肺蘇生法

ウ 日常的な応急手当

教科名	保健体育	科目名	保健	授業担当者名	菊池
-----	------	-----	----	--------	----

4 課題・提出物等

ノートの提出など

5 主な評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」及び「知識・理解」の3つの観点を踏まえ、授業への参加の観察、授業態度、ノートやプリントの提出物の記載内容、定期考査の結果などを総合的に判断し評価する。

6 評価の観点

関心 ・ 意欲 ・ 態度	現代社会と健康、生涯を通ずる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。
思考 ・ 判断	現代社会と健康、生涯を通ずる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。
知識 ・ 理解	現代社会と健康、生涯を通ずる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

教科名	保健体育	科目名	保健	履修単位数	1単位	履修学年	2学年次
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『現代高等保健体育』（大修館書店）						
副教材等	なし						
授業担当者	菊池 琢磨						

1 学習目標

- （1）個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。
- （2）健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- （3）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 指導計画〈35時間〉

▼前期〔20時間〕

オリエンテーション

- （1）生涯を通じる健康
- ア 思春期と健康
 - イ 性意識と性行動の選択
 - ウ 結婚生活、妊娠・出産と健康
 - エ 家族計画と人工妊娠中絶
 - オ 加齢、高齢者のための社会的取り組み
 - カ 医薬品と健康
 - キ 様々な保健活動や対策

▼後期〔15時間〕

- （2）社会生活と健康
- ア 環境と健康
 - イ 環境と食品の保健
 - ウ 労働と健康

教科名	保健体育	科目名	保健	授業担当者名	菊池
-----	------	-----	----	--------	----

4 課題・提出物等

ノートの提出など

5 主な評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」及び「知識・理解」の3つの観点を踏まえ、授業への参加の観察、授業態度、ノートやプリントの提出物の記載内容、定期考査の結果などを総合的に判断し評価する。

6 評価の観点

関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	現代社会と健康、生涯を通ずる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。
思 考 ・ 判 断	現代社会と健康、生涯を通ずる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。
知 識 ・ 理 解	現代社会と健康、生涯を通ずる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

令和3年度シラバス（保健体育） 学番78新潟県立佐渡高等学校相川分校

教科名	保健体育	科目名	スポーツ I	履修単位数	2単位	履修学年	1学年次選択者
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『現代保健体育』（大修館書店）						
副教材等	なし						
授業担当者	菊池 琢磨、原田 光						

1 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体と捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成する。

2 指導のねらい

- ・採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
- ・採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

3 指導計画〈70時間〉

▼前期〔34時間〕

- ・オリエンテーション (1時間)
- ・陸上競技(50M, 100M) (5時間)
- ・球技(サッカー) (10時間)
- ・球技(バドミントン) (10時間)
- ・球技(バレーボール) (8時間)

▼後期〔36時間〕

- ・球技(ソフトボール) (12時間)
- ・球技(卓球) (10時間)
- ・球技(バスケットボール) (14時間)

教科名	保健体育	科目名	スポーツ I	授業担当者名	菊池、原田
-----	------	-----	--------	--------	-------

4 課題・提出物等

グループノートの提出など

5 主な評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」及び「知識・理解」の4つの観点を踏まえ、授業への参加の観察、授業態度、授業中の行動、グループノートに確認・読み取り、記録・ゲーム・試合の結果分析などを総合的に評価する。

関心・意欲・態度	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断	・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
運動の技能	・運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・理解	・選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

教科名	保健体育	科目名	体育	履修単位数	2単位	履修学年	3学年次男子
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『現代高等保健体育』（大修館書店）						
副教材等	なし						
授業担当者	菊池 琢磨、原田 光						

1 学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 指導のねらい

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動させ、生徒によっては、これまでの経験からくる運動嫌いや苦手意識に固執することなく新たな気持ちで授業に臨ませる。
- ・自分と仲間の持つ課題を見つけようとする意欲を持たせる。また、自分自身のことにとどまらず仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つけさせる。
- ・基礎的な知識・技能をもとに意欲を持ってスポーツを実践させる。

3 指導計画〈70時間〉

▼前期〔40時間〕	
・オリエンテーション、体づくり運動	(7時間)
・体育理論	(4時間)
・陸上競技(短距離、長距離)	(9時間)
・球技(バスケットボール、卓球)	(10時間)
・球技(ソフトボール、バドミントン) 選択	(10時間)
▼後期〔30時間〕	
・球技(バスケットボール、バレーボール) 選択	(15時間)
・体育理論	(2時間)
・器械運動(マット運動)	(13時間)

教科名	保健体育	科目名	体育	授業担当者名	菊池、原田
-----	------	-----	----	--------	-------

4 課題・提出物等

グループノートの提出など

5 主な評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」及び「知識・理解」の4つの観点を踏まえ、授業への参加の観察、授業中の行動、記録・ゲーム・試合の結果分析、グループノートなどを総合的に評価する。

6 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・方法・理解	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

教科名	保健体育	科目名	体育	履修単位数	2単位	履修学年	3学年次女子
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『現代高等保健体育』（大修館書店）						
副教材等	なし						
授業担当者	菊池 琢磨、原田 力						

1 学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 指導のねらい

- ・運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動させ、生徒によっては、これまでの経験からくる運動嫌いや苦手意識に固執することなく新たな気持ちで授業に臨ませる。
- ・自分と仲間の持つ課題を見つけようとする意欲を持たせる。また、自分自身のことにとどまらず仲間の気持ちや体の状態に目を向け、問題点や解決方法を見つけさせる。
- ・基礎的な知識・技能をもとに意欲を持ってスポーツを実践させる。

3 指導計画（70時間）

▼前期〔40時間〕

- ・オリエンテーション、体づくり運動 (7時間)
- ・体育理論 (4時間)
- ・陸上競技（短距離、長距離） (9時間)
- ・陸上競技（障害、跳躍）、器械運動（マット運動）選択 (10時間)
- ・球技（ソフトボール、バドミントン）選択 (10時間)

▼後期〔30時間〕

- ・球技（バスケットボール、バレーボール）選択 (15時間)
- ・体育理論 (2時間)
- ・器械運動（マット運動） (13時間)

教科名	保健体育	科目名	体育	授業担当者名	菊池、原田
-----	------	-----	----	--------	-------

4 課題・提出物等

グループノートの提出など

5 主な評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」及び「知識・理解」の4つの観点を踏まえ、授業への参加の観察、授業中の行動、記録・ゲーム・試合の結果分析、グループノートなどを総合的に評価する。

6 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知識・方法・理解	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

教科名	保健体育	科目名	スポーツⅡ	履修単位数	4単位	履修学年	3年次選択者
授業形態	一斉授業						
履修条件	特になし						
使用教科書	『現代高等保健体育』（大修館書店）						
副教材等	なし						
授業担当者	菊池 琢磨						

1 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体と捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成する。

2 指導のねらい

- ・球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付けている。
- ・球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

3 指導計画〈140時間〉

▼前期〔75時間〕	
・ゴール型球技の理解と実践	(40時間)
・ネット型球技理解と実践	(35時間)
▼後期〔65時間〕	
・ベースボール型球技の理解と実践	(35時間)
・ターゲット型球技の理解と実践	(30時間)

教科名	保健体育	科目名	スポーツⅡ	授業担当者名	菊池
-----	------	-----	-------	--------	----

4 課題・提出物等

グループノートの提出など

5 主な評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」及び「知識・理解」の4つの観点を踏まえ、授業への参加の観察、授業中の行動、記録・ゲーム・試合の結果分析、グループノートなどを総合的に評価する。

関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
思 考 ・ 判 断	・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。
運 動 の 技 能	・運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
知 識 ・ 理 解	・選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。